

第三国集団研修事前調査団報告書

—フィリピン 交通計画と管理—

1993年10月

国際協力事業団
研修事業部

研 一
J R
93-039

第三国集団研修事前調査団報告書「フィリピン」交通計画と管理

一九九三年十一月

国際協力事業団

18114
ARY

国際協力事業団

25545

JICA LIBRARY



1117565(0)

序 文

第三国集団研修とは、社会的・文化的・言語的に共通の基盤を持つ一定の開発途上地域に研修実施国を選定し、そこに当該地域内の研修員を受け入れて、より現地事情に適合した技術・知識の移転を図り、これにより開発途上国間の技術協力の促進に寄与し、将来的には、実施国が独自に研修員受入事業を実施できるよう協力することを目的としている。昭和49年度、タイのコラート養蚕研究訓練センターではじめて実施して以来、年々第三国研修実施協力要請は増え続け、平成4年度には、22ヶ国で62コース実施されるに至っており、平成5年度は21ヶ国80コースが予定されている。フィリピンでは、平成4年度5コースが実施され、平成5年度には本コースを含め7コース実施の予定である。

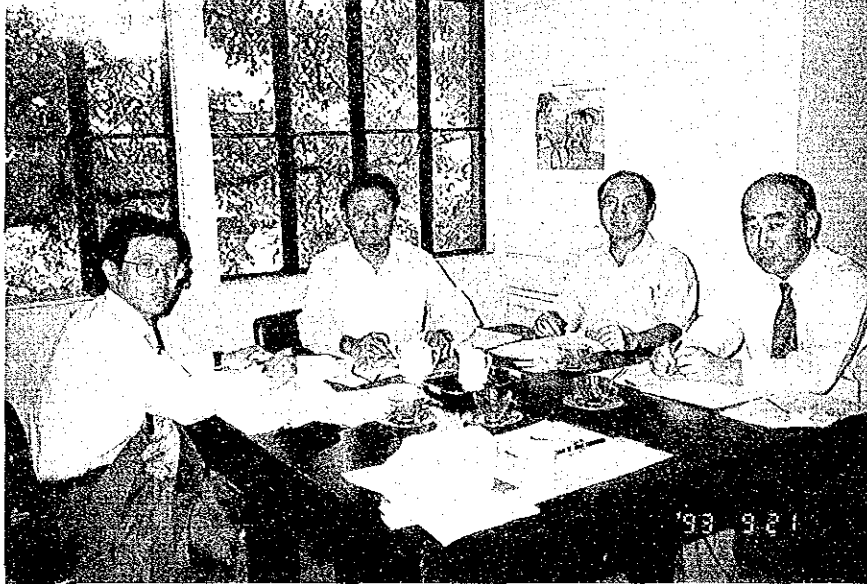
本件実施機関であるフィリピン交通研究センター（NCTS）においては、現在プロジェクト技術協力が実施されており、交通研究のアジア地域の中心機関を目指して技術移転が進められている。また、本センター前身の道路交通訓練センター（TTC）においては1982年より91年まで10年間にわたり「道路交通工学」の第三国研修が実施されてきた。このような経緯をふまえ、フィリピン政府は、平成5年度新規第三国集団研修案件として「交通計画と管理」の要請を日本政府に行った。

この要請を受け、当事業団平成5年9月20日から9月30日まで、事前調査団を派遣した。本報告書は、その結果及び協議内容を取りまとめたものである。

本件調査の実施にあたり、ご協力を賜った外務省、文部省、建設省ならびに在フィリピン日本大使館に深甚な謝意を表する次第である。

平成5年10月

研 修 事 業 部 長



TTCにて協議

(左より、齋藤団員、Cal TTC 所長、前島リーダー、長倉団長)



M/M署名

(前列左より 長倉団長、Emerlinda UPディリマン学長
後列左より 前島リーダー、Cal TTC 所長)

目 次

序 文

1. 事前調査団の派遣	1
1.1 派遣の経緯と目的	1
1.2 調査団の構成	1
1.3 調査日程	2
1.4 主要面会者	2
2. 要請の背景	4
2.1 交通計画と管理にかかる協力の現状	4
2.2 周辺国の研修ニーズ	4
2.3 実施国の現状	4
3. 要請の内容（第三国研修基本計画）	5
3.1 コース名	5
3.2 目的	5
3.3 到達目標	5
3.4 時期・期間	5
3.5 カリキュラム	5
3.6 割当国	6
3.7 定員	6
3.8 応募資格	6
3.9 研修機関	6
3.10 募集手続	6
3.11 外務省、TTC、日本政府それぞれの負担事項	6
3.12 経費の授受手続	7
4. 第三国研修実施体制	8
4.1 実施機関の組織及び事業概要	8
4.2 実施機関の関連組織及びその支援体制	8
4.3 実施機関の研修指導能力	8
4.4 実施機関の研修運営管理能力	8
4.5 実施機関の施設、建物、機材等	8
4.6 予算措置	9

4.7 その他	9
5. 日本側の他の経済協力との関係	10
5.1 プロジェクト方式技術協力	10
5.2 第三国研修	10
6. 第三国研修の妥当性	10
7. 日本側の協力	11
7.1 協力の目的と必要性	11
7.2 経費分担	11
7.3 専門家派遣	11
7.4 カウンターパート受入	11
8. 協議内容	12
8.1 協議経過	12
8.2 主たる協議概要・変更点	12

付属資料

質問表回答

調査団M/M

1. 事前調査団の派遣

1.1 派遣の経緯と目的

近年の急速な都市化と人口集中・車両の増加は、フィリピン並びに近隣諸国の交通事情を悪化させており、特に大都市部に於ける交通渋滞・交通事故の状況は悪化の一途をたどっている。そのため、現在、各国においてその解決方法の模索が行われている。本第三国研修実施の要請があったフィリピン道路交通訓練センター（TTC：Transport Training Center）は、フィリピン及び近隣諸国で交通関係の訓練・研修を行う唯一の線センターである。

日本の技術強力に関し、TTCでは、1977年より1983年の7年間にわたりプロジェクト方式技術協力が実施され、さらに、TTCの技術者養成の結果を第三国までに波及させるため、1982年より1991年の10年間は第三国研修「道路交通工学」（ASCOTT：A Senior Course on Transport Technology）が実施されてきた。また、TTCはフィリピン大学の特別ユニットから、正規ユニットへ移行する計画があり、現在はその過程として特別ユニットのまま、フィリピン大学の工学部・都市地域計画部と共同し、大学院の講座を開設することとなった。このような背景から、現在、TTCを核とし、従来の政府関係機関職員の訓練機能に加え、高度な研究教育機能を併せ持った新たなセンターを設立するため、1992年4月より5年間のフィリピン交通研究センター（NCTS：The National Center for Transportation Studies）プロジェクトが実施されている。

「交通計画と管理」（TRANSME X：Transportation Development Management Course for Executives）というテーマの第三国研修については1992年に新規提案として要請があったが、フィリピン交通研究センタープロジェクトが開始早々であったため、実施を見送った。その後約93年度にプロジェクト協力も進み第三国研修の実施体制が整ってきたところで、改めてフィリピン側より要請があったものである。

本調査団は、この要請を受け、本件実施母体であるTTCにおける第三国研修の実施可能性を調査するとともに、研修計画をフィリピン側関係者と協議することを目的として、派遣された。

1.2 調査団の構成

団 長（総括・団長）	長 倉	孝	国際協力事業団研修事業部次長
団 員（計画・運営）	齋 藤	徹	国際協力事業団研修事業部研修第一課

1.3 調査日程

日順	月 日	曜	行 程	業 務
1	9 / 20	月	東京→マニラ	移動 JICA事務所打合せ、日本大使館表敬
2	9 / 21	火		国家経済開発庁 (NEDA) 表敬 交通訓練センター (TTC) 表敬、施設見学、協議
3	9 / 22	水		TTCにて協議
4	9 / 23	木		フィリピン大学 (UP) 表敬
5	9 / 24	金		熱帯医学研究所 (RITM) にて第三国研修「熱帯医学」実施状況視察、施設見学 TTCにてミニッツ案協議
6	9 / 25	土		マニラ市内・近郊視察、資料整理
7	9 / 26	日		
8	9 / 27	月		TTCにてミニッツ最終協議 TTCにてミニッツ署名 国家かんがい庁 (NIA) にて第三国研修「畑地かんがい技術」実施施設視察
9	9 / 28	火		ILOマニラ事務所、労働雇用省 (DOLE) 表敬 労働安全衛生センター (OSHC) にて来年度第三国研修新規予定案件についてコンタクト調査
10	9 / 29	水		フィリピン貿易研修センター (PTTC) 視察
11	9 / 30	木	マニラ→東京	日本大使館、JICA事務所報告 移動

1.4 主要面談者

- (1) 国家経済開発庁 (National Economic & Development Authority (NEDA))

Ms. Aurora T. Collantes, Desk Officer, Special Committee on Scholarship

- (2) 交通訓練センター (Transport Training Center (TTC))

Dr. Primitivo C. Cal, Director

Mr. Esteban Q. Cases, Jr., Deputy Director

- (3) フィリピン大学 (University of Philippines(UP))

Dr. Emerlinda R. Roman, Chancellor, UP Diliman

Dr. Milagros D. Ibe, Vice Chancellor for Academic Affairs
Dr. Reynaldo B. Vea, Acting Dean, College of Engineering
Dr. Benjamin V. Carino, Dean, School of Urban and Regional Planning
Prof. Jose Ma. de Castro, Chairman, Civil Engineering

(4) ILOマニラ事務所

Mr. Paul J. Bailey, Director, ILO Office Manila

(5) 労働雇用省 (Department of Labor and Employment(DOLE))

Ms. Ma. Nieves Roldan-Confesor, Secretary

Ms. Cermela I. Torres, Executive Director, Institute for Labor Studies

(6) 労働安全衛生センター (Occupational Safety and Health Center(OSHC))

Ms. Helen D. Custodio, Executive Director

(7) 交通研究センタープロジェクト専門家

前島忠文 (チーフアドバイザー)

伊藤秀雄 (業務調整)

西岡誠治 (交通計画)

川島正二 (交通工学)

廣島康裕 (交通工学)

(8) 労働安全衛生センタープロジェクト専門家

奈良 篤 (チーフアドバイザー・安全管理)

圓尾忠義 (業務調整)

(9) 在フィリピン日本国大使館

長谷川金二 (一等書記官)

田中正晴 (一等書記官)

(10) JICAフィリピン事務所

橋本明彦 (所長)

町田 哲 (次長)

小林伸行 (所員)

(11) その他

・熱帯医学研究所 (Research Institute for Tropical Medicine(RITM))

Dr. Beatriz P. Quiambao, TCTP Course Director, 1993

・フィリピン貿易研修センター (Philippine Trade Training Center(PTTC))

Ms. Flordeliz Fatima E. Samaniego, Publication & Information Division

・畑地かんがいプロジェクト専門家

田中英統 (業務調整)

2. 要 請 の 背 景

2.1 交通計画と管理にかかる協力の現状

第三国研修実施機関である交通訓練センターでは、1992年4月より1997年3月まで交通研究センタープロジェクトが実施されている。本プロジェクトの目的は、TTCの従来の訓練部門を近代化すること、UPの人的資源・情報資源・建物等を基礎にTTCをUPの正規ユニットとすること、新たに、交通計画・交通工学各分野の修士課程教育を実施するとともに、研究活動を行うことである。

具体的協力内容は、大学院教育、交通研究、訓練事業、調査研究サービス、国際情報センター機能の強化である。

2.2 周辺国の研修ニーズ

周辺アジア地域における交通関係・関連の訓練センター・研修所は、本研修実施機関であるフィリピン交通訓練センターのみである。また、1991年度まで10回にわたって同センターで実施された「道路交通工学」の第三国研修では、延べ209名（周辺国153名、実施国56名）の研修員を受け入れた実績があり、周辺諸国における交通計画・管理の分野に対する研修のニーズは高い。特に、首都圏並びに都市部に於ける交通環境の悪化が顕在化しているアセアン諸国の交通計画・管理に対する研修ニーズは、非常に高いものとなっている。

2.3 実施国の現状

フィリピンに於ける交通計画策定、及び交通政策は運輸通信省が所管しているが、その調査研究はフィリピン大学交通訓練センターが実施しており、その機能は非常に高く評価されている。しかしながら、実際の交通分野のフィリピン国内の現状は他のアジア諸国と同様に首都圏を中心として交通渋滞の悪化、それに伴う交通事故の増加等問題を多く抱えており、現実にはその危機的な状況に対してフィリピン政府も解決策を模索しているところである。そのような中で現在実施中である交通研究センタープロジェクトは、同センターの機能強化を図り、フィリピン国内に交通分野の専門知識をもった有能な人材を育成するという意味で注目されている。

3. 要請の内容（第三国研修基本計画）

本基本計画は、TTC側より提示された要請をもとに、調査団及びTTC間で協議を行い、R/D（DRAFT）に取りまとめたものである。

3.1 コース名

和文：交通計画と管理

英文：Transportation Development Management Course for Executives(TRANSMEX)

3.2 目的

交通計画策定及びその管理について講義、実習、視察を行い、アジア太平洋地域の参加国のニーズにあった交通開発の知識・技術を普及させることを目的とする。

3.3 到達目標

- ・交通開発計画の管理・運営の技術・知識を強化する。
- ・プロジェクトサイクルマネジメント（PCM）を理解することにより交通開発計画の各段階に於ける問題分析、問題解決への過程を把握する。
- ・研修員各々の国の状況をお互いに理解することにより、経験、知識を共有し交通開発計画に生かしていく。
- ・参加各国と日本の協力関係を深める。

3.4 時期・期間

協力期間は平成5年度より平成9年度までの5年間とする。

研修期間は約3週間とし、初年度研修は平成6年3月6日より3月26日まで行う。

3.5 カリキュラム

第一週

研修員来比、開講式、オリエンテーション、運輸通信省・高速道路公共事業省表敬、フィリピンの交通システム、プロジェクト計画、現状分析、交通政策、視察、プロジェクト形成

第二週

交通プロジェクト経済、カントリーレポート、モニタリング技術、視察

第三週

セブ島研修旅行、ケーススタディ、研修評価会、閉講式、研修員帰国

3.6 割当国

バングラデシュ、ブルネイ、インドネシア、マレーシア、パプア・ニューギニア、シンガポール、スリ・ランカ、タイ、ヴィエトナム（以上9カ国）

3.7 定員

21名（周辺国18名、実施国3名）

3.8 応募資格

- (1) 各国政府より推薦された者
- (2) 年齢30才以上
- (3) 大学卒
- (4) 交通分野で5年以上の経験を有する者
- (5) 英語に堪能で心身とも健康な者

3.9 研修機関

フィリピン大学交通訓練センター（Transportation Training Center(TTC)）
（ケソン・シティー）

3.10 募集手続

- (1) 各国政府は、研修開始60日前までに外交ルートを通じフィリピン政府に要請書を送付する。
- (2) フィリピン政府は、研修開始30日前までに外交ルートを通じ各国政府に応募者の受け入れ可否を通報する。

3.11 外務省、交通教育センター（TTC）、日本政府それぞれの負担事項

フィリピン外務省

- (1) 割当国政府へのG. I. 送付
- (2) 要請書の受領及びTTCへの送付
- (3) 選考結果の各国政府への通報

TTC

- (1) 研修カリキュラムの作成
- (2) G. I. の作成・印刷
- (3) 研修実施に必要なスタッフ・講師の配置
- (4) 研修施設・機械の提供

- (5) 研修員の選考とフィリピン外務省及びJICAフィリピン事務所への通報
- (6) 研修員宿泊施設の手配
- (7) 航空券の手配、空港送迎
- (8) 研修実施中の研修旅行の手配
- (9) 日本側負担を除く研修経費に対する予算措置
- (10) 研修修了者に対する研修修了証書の発給
- (11) JICAフィリピン事務所への研修実施報告書の提出（研修終了30日以内）
- (12) 研修経費の精算と精算報告書の提出（研修終了30日以内）
- (13) その他研修に関する諸問題の調整

日本国政府

- (1) 短期専門家の派遣
- (2) 研修経費の負担
 - ・ 周辺国からの研修員の国際航空賃・日当宿泊料・保険料
 - ・ 研修旅費・教材費・消耗品費・事務費・外部講師謝金・開閉講式費等

3.12 経費の授受手続

日本政府から支払われる経費の送金及び支出は、以下の手続きに従い行うこととする。

- (1) JICAよりの研修経費が送金される銀行口座（口座名義JICA TRANSMEX）をフィリピン国内に開設し、TTCはJICA事務所に通報する。
- (2) TTCは研修開始の60日前に経費の見積書をJICA事務所に提出する。
- (3) JICAは、見積書受領30日以内に研修経費を査定し、送金する。
- (4) TTCは、研修終了後30日以内に精算書をJICA事務所に提出する。
- (5) 研修経費に残金が生じた場合、TTCは、JICAの指示に基づき返納する。航空賃・日当宿泊料・保険料は、他の目的には使用できない。
- (6) JICAの要求に基づき、TTCは上記3.12(4)の支出を証明するすべての領収書及び証拠書類を保管しておく。

4. 第三国研修実施体制

4.1 実施機関の組織及び事業概要

フィリピン交通訓練センター（TTC）はフィリピン大学の国立工学センターの一部として、機能しており（別添資料1 Annex1の組織図参照）、1978年よりは定期研修コースとして、18週間の交通計画・交通工学管理コースを年2回実施し、その他公共交通計画、交通事故調査・分析等の様々な短期コースを実施している。

また、1982年より1991年までの10日間は、JICAとの協力により「道路交通工学」の第三国研修を実施してきた実績がある。

4.2 実施機関の関連組織及びその支援体制

TTCは前述の通りフィリピン大学の一機関であり、アドバイザーコミッティーは、フィリピン大学工学部、フィリピン大学都市・地方計画学科、運輸通信省、高速道路・公共事業省、国家経済計画庁、フィリピン国家警察によって構成されている。特に講師、教材等の面において、フィリピン大学工学部、国立工学センターより全面的な支援を受けることが可能であり、フィリピン国内の現状と交通政策については管轄官庁である運輸通信省が支援することが可能である。またプロジェクト・サイクル・マネージメント（PCM）については、フィリピン国内の経済協力とりまとめ機関である国家経済開発庁の支援を受ける体制にある。

その他に、現在実施中である「交通教育センター」プロジェクトの長期専門家にコース内容・運営等についてアドバイスを受けることが可能である。

4.3 実施機関の研修指導能力

TTCには、独自の14名の講師がおり、本第三国研修には6名の講師が割り当てられる予定である。その他、前述の支援機関より講師、教材について協力を受ける体制が整っている。プロジェクト派遣長期専門家の助言を受け、一部の研修項目を短期専門家として派遣される日本人講師が担当することとすれば、研修指導能力は十分にある。

4.4 実施機関の研修運営管理能力

TTCは10年間に渡りJICAとの協力により第三国研修を実施してきた実績があり研修運営管理能力については問題ない。

4.5 実施機関の施設、建物、機材等

調査団派遣時にはJICA協力によりTTCの建屋の建築が行われていたが、第三国研修開始

までには完成し、講義室・実験室・コンピュータ室が建設されることとなる。現存の施設も十分に第三国研修に使用可能な施設で教室、AV室、図書室があり、研修用機材についても通常の研修に必要なもの（オーバーヘッドプロジェクター、スライドプロジェクター、ホワイトボード、マイクロコンピュータ、コピーマシン、車両、AV機器等）は揃っている。また、図書については、TTC図書館だけでなくフィリピン大学ディリマン校図書を利用することも可能である。

4.6 予算措置

本第三国研修については内部講師、スタッフの給与、光熱・水道料等の他は特に先方の予算措置は無い。

4.7 その他

別添資料として事前に送付した質問表の回答について詳細が記載されている。

5. 日本側の他の経済協力との関係

5.1 プロジェクト方式技術協力

研修実施機関であるTTCは、1977年、日比両国政府の共同事業として始められた「道路交通技術者の養成機関」である。そして、交通計画の立案・実施を進めていく人材養成のため、当事業団によって1977年から1983年までセンター協力事業として「道路交通訓練センター」プロジェクトが行われた。

また、現在は1992年4月から5年間の「交通研究センター」プロジェクトが実施中である。

5.2 第三国研修

前述の通り、1982年より1991年までの10年間、第三国研修「道路交通工学」が実施され、延べ209名の研修員を受け入れた実績がある。

6. 第三国集団研修の妥当性

本第三国研修は、フィリピン側からは昨年度に引き続き2回目の要請であり、TTCとしては1982年より1991年まで10年間実施した「道路交通工学」に関係した上級コースとしての位置づけをしている。昨年度は、プロジェクト開始後間もなく、新たな第三国研修をも開始することとなれば、プロジェクトのスムーズなスタートに影響が出かねないため、第三国研修の実施は見送った。今年度はプロジェクトも軌道に乗り、新たな第三国研修を実施することとなってもTTCの業務及びプロジェクトにそれほどの影響はでないと考えられたため、今年度実績を踏まえて事前調査団が派遣されたものである。

本第三国研修は、研修機関であるTTCの研修実施能力、管理能力について、過去10年間の実績もあり問題は無い。それに加え、研修のテーマである「交通計画と管理」も、過去の研修ニーズの高さ、フィリピン及び周辺割当国の交通環境の状況を考えると適切なものであるといえる。

研修実施時期についても、プロジェクト進行状況、専門家派遣時期との調整を考え、第一回研修は1994年3月の3週間とすれば十分に実施可能である。

7. 日本側の協力

7.1 協力の目的と必要性

日本側で負担する協力は、研修の計画・運営に対する助言（プロジェクト長期専門家による）、研修経費の負担、研修実施中に短期専門家の派遣、必要であれば第三国研修カウンターパート研修員の本邦研修となろう。

このような協力の目的、必要性は、フィリピン及びその周辺諸国でTTCが唯一の交通関係・関連のセンターであり、ここを拠点として交通分野の技術移転を行うことにより、第三国研修参加各国の交通状況改善に寄与することであり、道路状況が類似しているフィリピンにて研修を実施することは日本国内で集団研修を実施する以上の効果が期待できることがあげられる。

また、現行プロジェクトとの関連においても、プロジェクトの成果を周辺諸国へと波及させる効果もある。

7.2 経費分担

（フィリピン側負担）

人件費、TTC光熱水料

（日本側負担）

・受入諸費

航空賃、宿泊・日当、保険料

・研修諸費

講師謝金、研修旅費、教材費、消耗品費、開閉講式費、他

7.3 専門家派遣

第一回の研修に関する専門家としては、「交通計画」・「交通管理」の2名の短期専門家派遣が要望される予定である。専門家のリクルートは、現在実施中の「交通研究センター」プロジェクトの国内支援委員会の調整により可能である。

7.4 カウンターパート受入

初年度については特に要望はなかったが、第三国研修のカウンターパート研修が可能であることをTTC側に伝えてある。

8. 協 議 内 容

8.1 協議経過

調査団派遣に先立ち、研修実施機関であるTTCの研修実施体制にかかる質問表の送付及びR/D案を送付しておいたため、協議は質問表に対する回答及びR/D案の検討という形で行われた。

第一回協議（9月21日）は、質問表に対する回答の説明を受け、TTCの研修施設を視察し、R/D案についての概略の説明を受けた。

第二回協議（9月22日）は、R/D案の各項目について、逐一検討を行った。

9月23日のUPディリマン校学長表敬時に、第三国研修協力内容について説明を行うと共に協議経過を報告した。また、この際に本件事前調査団のM/Mのフィリピン側署名者がUPディリマン校学長であることを確認し、署名は9月27日にTTCにて行うこととした。

第三回協議（9月23日）は、前日の表敬の結果を受け打ち直したR/D案について、検討しM/M確定した。

最終協議（9月27日）では、表現、綴、計算のチェックを行い、M/Mを作成し、団長とUPディリマン校学長の間で署名を交換した。

8.2 主たる協議概要・変更点

（研修コース名）

当初のコース名（英文）は（Transport Development……）となっていたがコースの内容を考えるとTransportよりTransportationとしたほうがふさわしいとのフィリピン側の申出により、コース名（英文）は（Transportation Development Management Course for Executives, 略称TRANSMEX）となった。それに伴いR/D案文中のTransportもすべてが、Transportationと変更された。

（研修目標）

フィリピン側より提案された目標でTTC及び支援機関の協力体制、日本側の協力によって実現可能であるとの認識で合意した。

（研修時期・期間）

研修時期は第一回研修については、R/D締結及び日本側の専門家のリクルートの関係で1994年3月6日から3月26日までとした。なお、研修期間は3週間程度ということになった。

（割当国・定員）

実施国を含めASEAN6カ国及び、1991年まで実施した「道路交通工学」の第三国研修で参加が多くあった周辺国として、PNG、スリランカ、バングラデシュの3カ国を含め、また、

今後の協力拡大を考慮しベトナムを加えた。

定員は、周辺諸国より18名、実施国3名とした。

(応募資格)

本研修は各国の交通プロジェクトを担当する上級専門家を対象としており、応募資格に上級専門家という項目を明記するという案が当初はあったが、応募資格で多くの条件を付すと、全体の応募者が少なくなる可能性があるため、R/D案には明記せず、G. I. 記載の研修カリキュラムで上級専門家のコースであることを示し、選考時に適切な研修員を受け入れるようにすることとした。

(研修経費の授受手続き)

当初の日本側案では、通常の手続きの通りTTCが銀行口座を開設すると記載する予定であったが、TTCはUPの下部組織であるため、TTC口座を開設する形をとると実際の支払時にUPの承認を得る必要があり3週間程度の研修では、経理業務が時間的に間に合わなくなる。そのため、JICA TRANSMEXという口座を作りTTC所長と現行プロジェクトの専門家のジョイント口座とすることで、研修経費をUPの下部組織のTTCが管理するのではなく、TTC所長と日本人専門家の共同管理とすることで、経理業務の時間的短縮を図ることとした。このような手続きは、フィリピンのプロジェクト実施中の機関で行われている他の第三国研修で例がある。さきに実施していた「道路交通工学」の第三国研修では研修経費は外部の財団管理という形にしていたが、管理費も掛かるため、今回は財団の管理とはしなかった。

付 属 資 料

質 問 表 回 答

調 査 団 M / M

**Questionnaire for the Implementation of
the Third Country Training Programme**

on

**Transportation Development Management Course for Executives
(TRANSMEX)**

1. Outline of Executing Organization (Transport Training Center (TTC), University of the Philippines (UP))

(1) Organizational Chart Of TTC (Please refer to Annex 1)

The TTC is a regular unit of the UP. This is under the National Engineering Center (NEC) which reports to the office of the UP Diliman Chancellor.

The TTC is headed by the Director and is assisted by the Deputy Director. The Office of the Director has three (3) support staff. The TTC has four (4) functional units which are listed below. The distribution of plantilla items are also indicated.

- Computer Systems and Services Group (8 personnel)
- Library (4)
- Administrative Services Group (15), and
- Training and Research Group (18 technical and 5 support staff)

(2) Number of TTC staff

Classification	Plantilla Items	Actual Number
- lecturers(consultants)	-	3
- instructors(in-house)	20	14
- administrator	2	2
- secretarial	7	3
- clerical (including library and computer personnel)	26	13
- TOTAL	55	35

(3) Implemented Courses for past five years (See Annex 2)

The TTC has been offering an 18- week training program on Transportation Planning, Traffic Engineering and Management, and Traffic Management for Traffic Law Enforcers, twice a year since 1978. The TTC has also conducted in the past various short term training courses on specialized topics, such as public transport planning, traffic accident investigation and analysis, traffic law enforcement, etc.

The TTC has also conducted a Third Country Training Program entitled "A Senior Course on Transport Technology" or ASCOTT yearly from 1982 to 1991.

(4) Annual Budget of TTC for past five years (See Annex 3)

2. Relevant support institute/organization and their relationship with TTC

Organization chart of UP and other organization chart related to TTC (See Annex 4)

The TTC is a regular unit of UP under the NEC. The NEC is under the Office of the Chancellor of UP Diliman.

The TTC has an Advisory Committee chaired by the UP Diliman Vice Chancellor for Academic Affairs, and is composed of representatives from the following government agencies:

- College of Engineering, UP
- School of Urban and Regional Planning, UP
- Department of Transportation and Communications
- Department of Public Works and Highways
- National Economic and Development Authority
- Traffic Management Command/ Philippine National Police

3. Facilities of TTC

(1) Classrooms and laboratories (See Annex 5)

Presently, the TTC has three classrooms, one Audio Visual Room, and one microcomputer room. Three additional classrooms will be available starting January 1994.

The TRANSMEX will be conducted using the Audio- Visual Room , with seating capacity of about 75 persons, for country report presentations, workshops, film showings and special lectures. Seminar room C, with

seating capacity of about 25 persons, will be used for regular lectures. The microcomputer room has 22 microcomputer units which can be used for practicum and individual computing activities. Two smaller classrooms which can accommodate 15 persons can be used for smaller group activities. Three new classrooms at the TTC Annex building will be ready and available for the first course of TRANSMEX.

(2) List of tools and measuring equipment of TTC which are planned to be used for TRANSMEX

- Overhead projector
- Slide projector and carousel type slide holders
- film projector
- White Screen
- Microcomputers
- copying machine
- mimeographing machine
- binding machine
- printers (laser and letter quality types)
- 8 mm/Beta/VHS cameras
- 8 mm/Beta/VHS recorder-players
- support vehicles
- drawing equipment
- white board

The above listed equipment of TTC will be used in time sharing scheme with other training and research activities of the center.

(3) Library

The TTC maintains a small library which can be used by TRANSMEX participants. The TTC library materials are mostly on transportation. Presently, the TTC library has the following collections:

- | | |
|---------------------|--------|
| - books | - 5442 |
| - periodical titles | - 192 |
| - microfiches | - 2136 |
| - audio tapes | - 78 |
| - video tapes | - 81 |
| - maps | - 935 |
| - slides | - 729 |

Materials from other library units in the UP Diliman maybe borrowed through the TTC Librarian.

(4) Hospital/Medical facilities

The UP Infirmary located at the UP Diliman campus, about 5-10 minute walk from the TTC, will be available for medical and minor hospitalization needs of ASCOTT participants. There are about 5 big hospitals near the UP Diliman campus in case of emergency and for cases requiring major hospitalization. Participants from other countries will be covered by medical and hospitalization insurance for the duration of the course

(5) Accommodation and Transportation for the participants of TRANSMEX

The participants will be billeted in a hotel just outside the UP campus. This is about 10 to 15 minutes away by taxi from the TTC, and about 20 minutes by public transportation, including waiting time. The hotel is near jeepney and bus loading/unloading areas.

4. The Course to be implemented

(1) Number of staff in charge of TRANSMEX

The TRANSMEX will be handled by a Program Coordinator who will be reporting directly to the Director. Various committees will be set up for the efficient handling of the course. Each committee will be headed by a chairman who will be directly responsible to the Program Coordinator. Each committee will have about two or three members, including the chairman. The committees to be set up, among others, are for the following activities:

- Lecture Sessions
- Country Reports
- Special Lectures
- Site Visits and Study tours
- Opening and Closing Activities
- Airport Welcome/Send-off and Accommodations
- Social Activities

A secretary and two other support staff will be assigned full time for the duration of the TRANSMEX.

(2) Annual budget for TRANSMEX

Estimated budget for the first offering of TRANSMEX is shown in Annex 6.

(3) Number of lecturers:

For the conduct of TRANSMEX, the number of lecturers from various organizations are as follows:

- TTC - 2
- Department of Transportation and Communications (DOTC) - 1
- National Economic and Development Authority (NEDA) - 4
- JICA - 3

Topics	Agency
Project Development Cycle	TTC
Problem Identification and Analysis	JICA
Transportation Policies	DOTC
Project Identification and Preparation	TTC
Project Appraisal and Decision Making	NEDA
Financing Transport Development Projects	NEDA
Implementation Strategies and Monitoring Techniques	JICA
Institutional Aspects of Transport Project Management	JICA
BOT, BT, etc.	NEDA
Project Proposal Processing By International Agencies	NEDA

Lecturers during site visits and study tours will be provided by the offices being visited.

(4) Educational Background and Experience of lecturers to be appointed to TRANSMEX

Lecturers who will handle the TRANSMEX have advanced degrees (master or doctorate degrees), and/or have undergone advanced training, and have at least ten (10) years of work experience on transportation.

(5) List of textbooks to be used for TRANSMEX

The main textbook to be used in TRANSMEX is the "Project Development Manual " which was published by NEDA. The list of references available at the TTC Library can be found in Annex 7.

(6) List of tools and measuring equipment to be used for TRANSMEX

- Overhead projector
- Slide projector and carousel type slide holders
- film projector
- White Screen
- Microcomputers
- copying machine
- mimeographing machine
- binding machine
- printers (laser and letter quality types)
- 8 mm/Beta/VHS cameras
- 8 mm/Beta/VHS recorder-players
- support vehicles
- drawing equipment
- white board
- opaque projector
- magnabyte type of equipment for projection of microcomputer outputs to white screen
- slide maker
- softwares on project management

(7) Methodology and Evaluation of Training Result

Two types of questionnaires will be handed out for completion by the participants--- one to evaluate the lecture session and the lecturer's conduct of the assigned topic, and the other to evaluate the over-all conduct of the course.

The first questionnaire will be distributed at the end of each lecture session and the participants will be required to submit the completed forms not later than the following day. The evaluation will be centered on the items listed below:

- method of instruction and presentation
- communication language
- coverage of the topic
- trainees involvement and participation
- quality and quantity of visual aids and other teaching materials
- quality and quantity of hand-outs

The following questions will also be asked :

- Was the subject pertinent to the participants need and interest?
- Was the participant familiar about the subject prior to the session?
- Were the theoretical aspects, if any, discussed clearly during the session?
- Were there sufficient practical applications cited during the session?
- What are the benefits the participants derived from the session?
- How can we improve the lecture session?

The other questionnaire will be distributed on the last classroom session of the course and shall be collected on the following day which is reserved for evaluation meeting. This questionnaire will deal on the over-all conduct of the course. The questions will deal on the following:

- Were the objectives of the course met?
- Were the participants' expectations met?
- Curriculum design (coverage, level, time allocation)
- Duration of the program
- Frequency and appropriateness of site visits and study tours
- Administration and management of the course (coordination, housing and food accommodations, allowance, transportation, social programs,etc.)
- Training outcomes (what they learned from the course, etc.)
- Comments and suggestions to improve the course

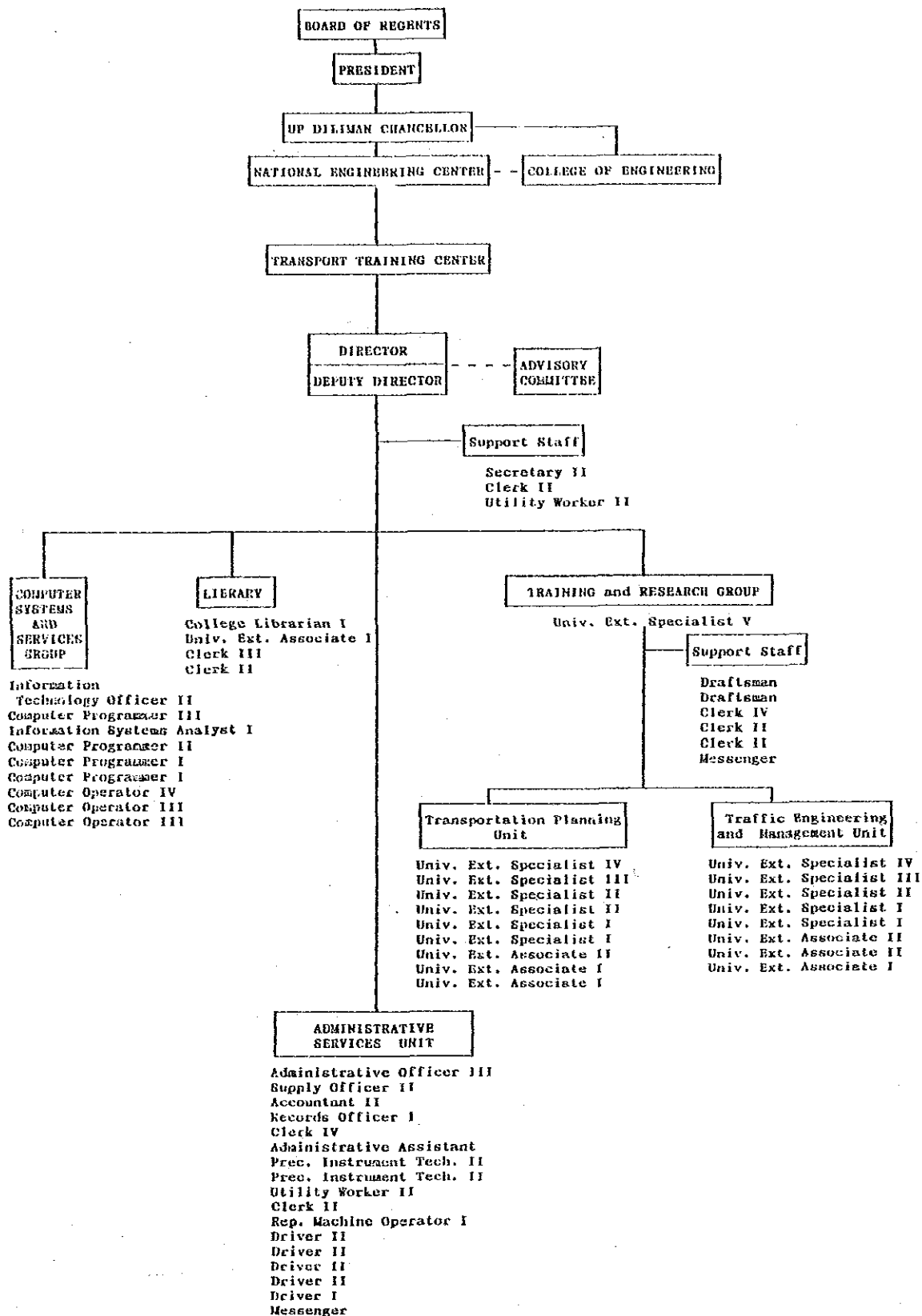
Aside from the questionnaire survey, there will be group meeting between the participants and the organizer for the oral evaluation of the course. Things which were not asked in the questionnaires, and information and comments which the trainees failed to include in the same are normally discussed during this meeting.

- (8) Apprehension of neighboring countries' requirement on TRANSMEX
(For Clarification)

5. Foreign Aid to TTC

The TTC has been receiving assistance from the Government of Japan since 1977. The TTC was not a recipient of any foreign assistance other than Japan since the.

DRAFT



TTC ORGANIZATIONAL CHART

Administrators

01. Cal, Primitivo C.
02. Cases, Esteban Jr.

Lecturers/Trainers

01. Alvarez, Alan
02. Apuan, Manuel T.
03. Castro, Jun T.
04. Felias, Herculano A.
05. Garcia, Samuel Julius
06. Gerilla, Gloria P.
07. Jugueta, Dennis Paulo
08. Lidasan, Hussein S.
09. Lim, Rey S.
10. Manahan, Ronaldo Jose
11. Manahan, Salome R.
12. Mappala, Aileen U.
13. Montalbo, Cresencio Jr.
14. Palmiano, Hilario Sean

Messengerial

01. Figueroa, Arnold S.

Consultants/Lecturers

01. Bantigue, Victor B.
02. Esguerra, George D.
03. Valbuena, Cesar T.

General Clerical

01. Caingat, Gilda S.
02. Esguerra, Leticia Y.
03. Gollayan, Ubaldo B.
04. Landrito, Elpidio Jr.
05. Maglaya, Tomas M.
06. Menor, Anita G.
07. Punay, Rosie G.
08. Reyes, Alicia F.
09. Tibayan, Mercedita L.

Technicians

01. Bonganay, Domingo T.
02. Dacanay, Ramir T.
03. Montellano, Romeo M.

Drivers

01. Castor, Eleuterio L.
02. Odo, Teodulo G.
03. Velasco, Osmundo D.

TRAINING PROGRAM FOR THE LAST FIVE YEARS

REGULAR TRAINING PROGRAM

RTP # 18	15 February to 10 June 1988
RTP # 19	20 June to 14 October 1988
RTP # 20	13 February to 16 June 1989
RTP # 21	21 June to 27 October 1989
RTP # 222	12 February to 15 June 1990
RTP # 23	25 June to 26 October 1990
RTP # 24	28 January to 31 May 1991
RTP # 25	10 June to 11 October 1991
RTP # 26	27 January to 05 June 1992
RTP # 27	20 July to 20 November 1992
RTP # 28	01 February to 04 June 1993

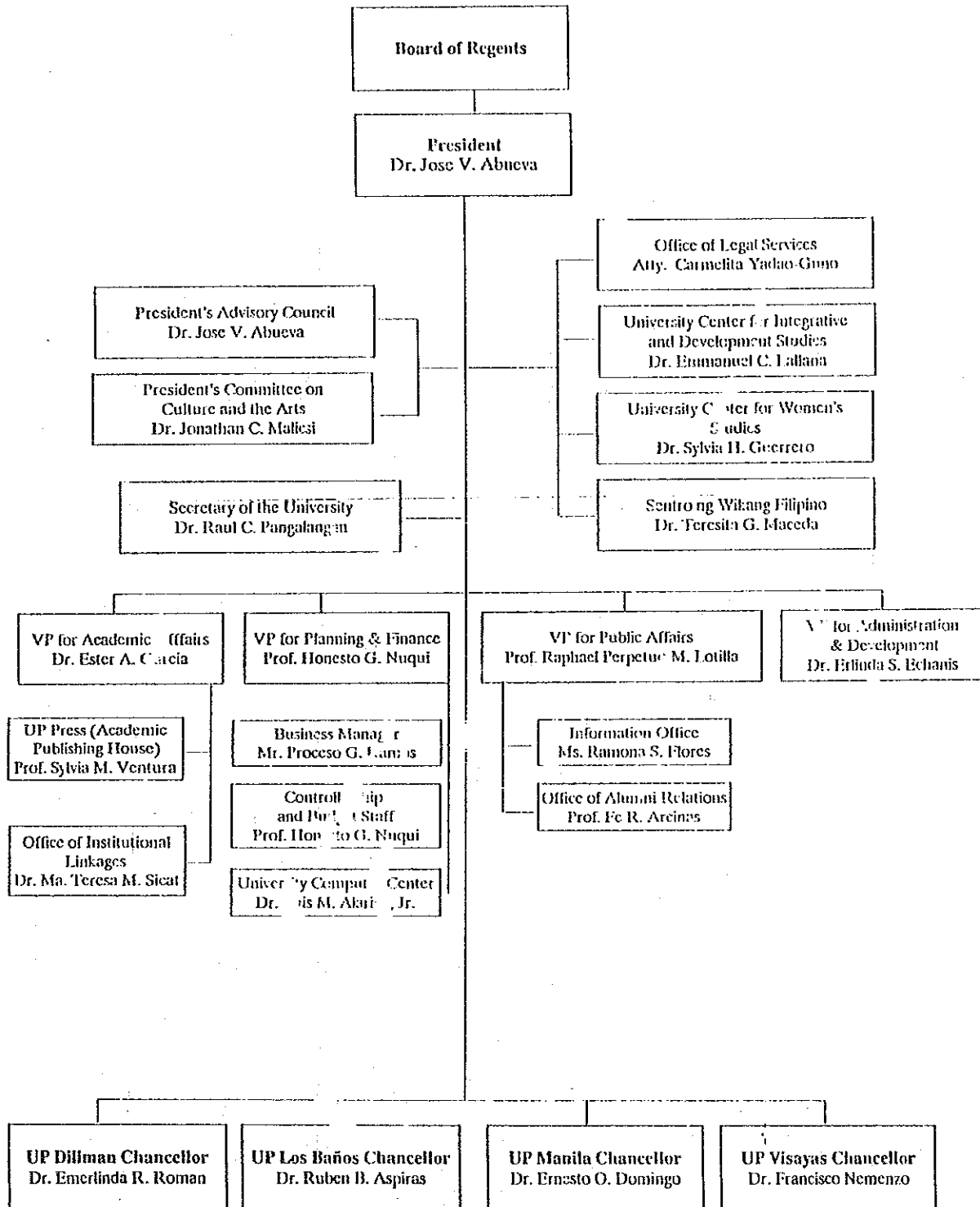
A S C O T T

ASCOTT VII	November 07, 1988 to December 16, 1988
ASCOTT VIII	November 06, 1989 to December 15, 1989
ASCOTT IX	November 05, 1990 to December 14, 1990
ASCOTT X	November 11, 1991 to December 20, 1991

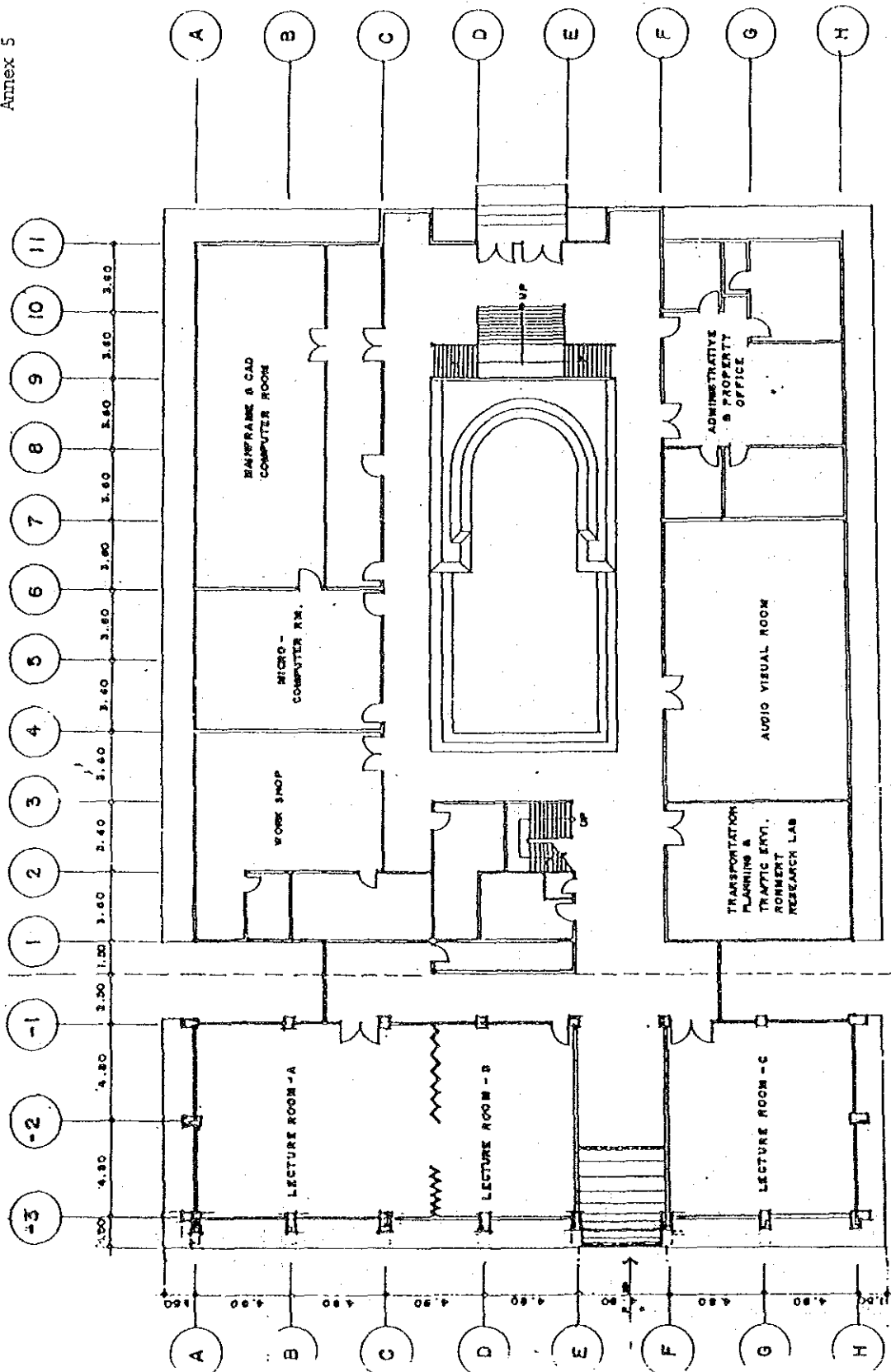
Summary of Budget for the Last Five Years

	1989	1990	1992	1992	1993
Personal Services	2653000	2653000	2408000	3332000	3332000
Maintenance and other Operating Expenses	1398000	1241000	1113000	1435000	1292000
	4051000	3894000	3521000	4767000	4624000

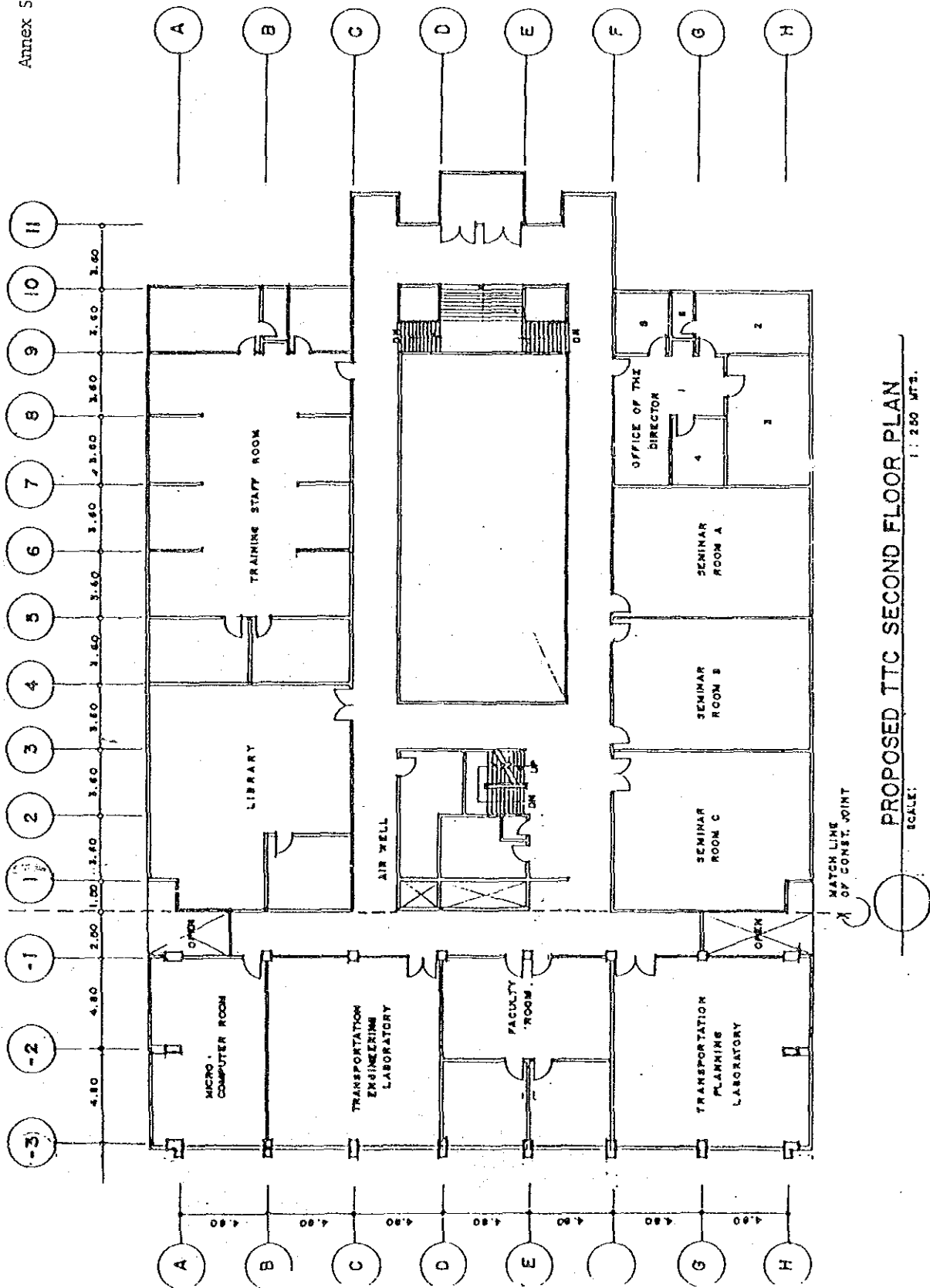
ORGANIZATIONAL CHART



Produced by the UP Information Office/June 24, 1992



PROPOSED TTC GROUND FLOOR PLAN
SCALE: 1:250 MTS.



PROPOSED TTC SECOND FLOOR PLAN
SCALE: 1 : 250 MTS.

TRANSMEX: Transport Development Management Course for Executives
 Details of estimates:

	quantity	unit amount (round trip)	frequency	budget	Sub total (peso)	Total (peso)
I. Invitation, Preparation and Post Training Expenses						
1. air tickets: (in US Dollars/2 way) *						
-Philippines	3 persons	\$ 0.00		\$ 0.00		
-Thailand	2 persons	\$ 736.00		\$ 1,472.00		
-Singapore	2 persons	\$ 984.00		\$ 1,968.00		
-Brunei	2 persons	\$ 548.00		\$ 1,096.00		
-Indonesia	2 persons	\$ 1,036.00**		\$ 2,072.00		
-Malaysia	2 persons	\$ 654.00		\$ 1,308.00		
-Papua New Guinea	2 persons	\$ 1,500.00**		\$ 3,000.00		
-Vietnam	2 persons	\$ 500.00**		\$ 1,000.00		
-Sri Lanka	2 persons	\$ 2,000.00**		\$ 4,000.00		
-Bangladesh	2 persons	\$ 2,000.00**		\$ 4,000.00		
		** "estimates"		\$ 19,916.00 P	597,480.00	
2. per diem:	18 persons	P 500.00	23 days	207,000.00 P	207,000.00	
3. accommodation (Manila)	18 persons	P 1,600.00	20 days	576,000.00		
accommodation (Cebu)	18 persons	1,800.00	3 days	97,200.00		
			total	P 673,200.00		
4. medical insurance	18 persons	P 6,000.00		108,000.00 P	108,000.00	
SUB TOTAL:						1,585,680.00

II. Training Expenses							
1. Honoraria for external lecturers							
1.1 lectures' fee:							
- Briefing on Philippine Transport System 1	1.5 hours	P	700.00				1,050.00
- Briefing on Philippine Transport System 2	1.5 hours	P	700.00				1,050.00
-Project Development Cycle	3 hours	P	700.00				2,100.00
-Problem Identification and Analysis	3 hours	P	700.00				2,100.00
-Transportation Policies	3 hours	P	700.00				2,100.00
-Project Appraisal and Decision Making	6 hours	P	700.00				4,200.00
-Financing Transport Development Projects	3 hours	P	700.00				2,100.00
- Implementation Strategies and Monitoring Techniques	3 hours	P	700.00				2,100.00
	24						P 16,800.00
1.2 Transportation over long distance							
	2 persons	P	300.00				600.00
2. Employment fee							
2.1 Preparation and post training activities							
- secretary	1 person	P	200.00	15 days			3,000.00
- driver	1 person	P	150.00	10 days			1,500.00
- messenger	1 person	P	150.00	10 days			1,500.00
- draftsman	1 person	P	150.00	15 days			2,250.00
-copy machine operator	1 person	P	150.00	15 days			2,250.00
2.2 During training activities							
-secretary	1 person	P	200.00	10 days			2,000.00
-draftsman	1 person	P	150.00	10 days			1,500.00
-driver	1 person	P	150.00	15 days			2,250.00
-messenger	1 person	P	150.00	10 days			1,500.00
							P 17,400.00
							P 17,750.00

3. Transportation for study tour							
3.1 Travelling Expenses							
- transportation from/to airport to/ from hotel		9 taxis	P 1,000.00	2 days	18,000.00 P	18,000.00	
- inland transportation		18 persons	P 100.00	21 days	37,800.00 P	37,800.00	
-Metro Manila and adjacent provinces: (bus hire)							
* Courtesy call: DPWH, DOTC and JICA		1 bus	P 12,000.00	1 day	12,000.00		
* Visit to PPA/MICT, TEC, LRT and MVIS		1 bus	P 12,000.00	1 day	12,000.00		
* Field trip to Subic Bay area development		1 bus	P 20,000.00	1 day	20,000.00		
* Field trip to South Luzon Expressway and Tagaytay area development		1 bus	P 15,000.00	1 day	15,000.00		
P 59,000.00							
- Cebu City Study tour :							
* plane fare							
- participants		21 persons	P 6,000.00	1 day	126,000.00		
- staff and organizer		6 persons	P 6,000.00	1 day	36,000.00		
P 162,000.00							
* bus hire from /to Cebu Airport to/from hotel		1 bus	P 6,000.00	2 days	12,000.00		
* bus hire for daily shuttle		1 bus	P 10,000.00	2 days	20,000.00		
P 32,000.00							
* accommodation							
- participants		3 persons	P 1,800.00	3 days	16,200.00		
-staff		6 persons	P 1,800.00	3 days	32,400.00		
P 48,600.00							
* per diem							
-local participants		3 persons	P 500.00	4 days	6,000.00		
- staff and organizer		6 persons	P 500.00	4 days	12,000.00		
P 18,000.00							
* advance party							
- taxi to/from airport from/to quarter		2 persons	P 400.00	2 days	1,600.00		
- airplane fare		2 persons	P 6,000.00		0.00		
- accommodation		2 persons	P 1,800.00	2 days	7,200.00		
-per diem		2 persons	P 800.00	3 days	4,800.00		
- taxi from/to airport to/from hotel		1 taxi	P 300.00	2 days	600.00		
- inland transportation for coordination		1 car	P 2,000.00	2 days	4,000.00		
P 18,200.00							
3.2 Others:							
* lecturer's fee (Cebu)		2 persons	P 700.00	2 days	2,800.00		
* conference room rental (Cebu)		1 room	P 1,500.00	1 day	1,500.00		
* foods and drinks during the conference (Cebu)		35 persons	P 300.00	1 day	10,500.00		
P 14,800.00							

4. Material procurement		4.1 Articles of consumption						
ballpens		60 pieces	P	20.00		1,200.00		
pencils		60 pieces	P	5.00		300.00		
notebooks		60 pieces	P	20.00		1,200.00		
memop pads		60 pieces	P	30.00		1,800.00		
road maps		25 pieces	P	50.00		1,250.00		
films(Color print)		20 rolls	P	200.00		4,000.00		
developing/printing (color print)		20 rolls	P	150.00		3,000.00		
8 mm tapes		12 cassette	P	350.00		4,200.00		
VHS tapes		12 cassettes	P	250.00		3,000.00		
Beta tapes		12 cassettes	P	250.00		3,000.00		
film (slides)		12 rolls	P	220.00		2,640.00		
developing/framing (Slides)		12 rolls	P	250.00		3,000.00		
film (black and white)		5 rolls	P	120.00		600.00		
developing/printing (B/W)		5 rolls	P	200.00		1,000.00		
pens/ markers		5 pieces	P	30.00		150.00		
cassette tapes		30 pieces	P	100.00		3,000.00		
yellow pads		60 pads	P	25.00		1,500.00		
signpens		40 pieces	P	40.00		1,600.00		
pentel pens		20 pieces	P	40.00		800.00		
OHP markers		10 sets	P	300.00		3,000.00		
white board markers(bk,bl,rd)		15 pieces	P	40.00		600.00		
transparency films		4 boxes	P	1,800.00		7,200.00		
graphing paper		2 reams	P	200.00		400.00		
tracing paper		1 roll	P	1,000.00		1,000.00		
letter transfer		50 sheets	P	40.00		2,000.00		
chalk (white)		8 boxes	P	100.00		800.00		
chalk(colored)		4 boxes	P	25.00		100.00		
board eraser		4 pieces	P	50.00		200.00		
letter envelop (airmail)		2 boxes	P	420.00		840.00		
letter envelop (ordinary)		2 boxes	P	400.00		800.00		
brown envelop (long)		100 pieces	P	3.00		300.00		
brown envelop(short)		100 pieces	P	2.75		275.00		
ordinary folder		100 pieces	P	6.00		600.00		
green hard folder		50 pieces	P	15.00		750.00		
byronic paper (83grams)		6 boxes	P	600.00		3,600.00		
paper board fine linen (178 grm)		100 pieces	P	35.00		3,500.00		
plastic cover		2 rolls	P	650.00		1,300.00		
morocco paper		25 sheets	P	100.00		2,500.00		
binding strip(1X 13)		2 pkts	P	800.00		1,600.00		
air freshener		4 cans	P	150.00		600.00		
batteries(size AA)		60 pieces	P	8.00		480.00		

batteries (size C)	40 pieces	P	12.00	480.00
batteries (size D)	40 pieces	P	14.00	560.00
toner for MITA copier (large)	10 cassettes	P	1,700.00	17,000.00
toner for MITA copier (small)	10 cassettes	P	1,200.00	12,000.00
floppy diskette (3.5 HDD)	15 boxes	P	500.00	7,500.00
floppy diskette (5.25 HDD)	10 boxes	P	350.00	3,500.00
computer ribbon	10 pieces	P	450.00	4,500.00
laser toner	10 tubes	P	1,200.00	12,000.00
computer paper	3 boxes	P	500.00	1,500.00
lift off tape	40 rolls	P	50.00	2,000.00
mimeo paper (A4)	50 reams	P	180.00	9,000.00
mimeo paper (legal)	15 reams	P	160.00	2,400.00
bond paper (A4)	25 reams	P	250.00	6,250.00
bond paper (legal)	15 reams	P	270.00	4,050.00
copy paper (A3)	10 reams	P	400.00	4,000.00
tuffilm fixture glass	2 cans	P	380.00	760.00
cork board	1 piece	P	3,500.00	3,500.00
magnetic board	2 pieces	P	3,500.00	7,000.00
filing cabinet	2 pieces	P	4,000.00	8,000.00
fax paper	3 rolls	P	1,500.00	4,500.00
tempera opaque colors	1 set	P	250.00	250.00
Prang Color	1 set	P	400.00	400.00
Camel's hair watercolor brush	1 set	P	150.00	150.00
Mylar tracing paper	1 roll	P	650.00	650.00
ink eraser	5 pieces	P	50.00	250.00
Technical Pen Ink	10 bottles	P	80.00	800.00
india ink	1 bottle	P	40.00	40.00
speedball pen	1 set	P	1,200.00	1,200.00
technical pens	5 sets	P	1,000.00	5,000.00
mechanical pens	5 pieces	P	90.00	450.00
lead mechanical pens	5 pieces	P	30.00	150.00
cutter with blades	5 pieces	P	150.00	750.00
triangles	10 pieces	P	85.00	850.00

rulers	20 pieces	P	15.00		300.00	
crayons	10 sets	P	50.00		500.00	
staplers	5 pieces	P	500.00		2,500.00	
staple wire	5 boxes	P	35.00		175.00	
fasteners	10 boxes	P	25.00		250.00	
streamers	4 pieces	P	500.00		2,000.00	
glue	4 pieces	P	40.00		160.00	
fluorescent paper	1 box	P	200.00		200.00	
colored paper	1 box	P	150.00		150.00	
fluorescent lights	20 pieces	P	100.00		2,000.00	
masking tapes	10 pieces	P	35.00		350.00	
scotch tape	5 pieces	P	25.00		125.00	
paint	4 cans	P	250.00		1,000.00	
paint thinner	8 bottles	P	75.00		600.00	
plastic glasses	500 pieces	P	1.00		500.00	
paper plates	250 pieces	P	1.50		375.00	
plastic spoon/fork	250 sets	P	1.50		375.00	
water jug	2 pieces	P	500.00		1,000.00	
plastic container	2 pieces	P	500.00		1,000.00	
thermos/heater	2 pieces	P	1,500.00		3,000.00	
training bag	40 pieces	P	450.00		18,000.00	
					P	225,685.00
4.2 Meeting Expenses						
-Opening Ceremony	100 persons	P	800.00	1 day	80,000.00	
-Closing Ceremony	100 persons	P	800.00	1 day	80,000.00	
- coordination meetings	15 persons	P	250.00	4 days	15,000.00	
					P	175,000.00
4.3 Others						
-GI printing	50 pieces	P	200.00		10,000.00	
- communication expenses	30 times	P	400.00		12,000.00	
*fax/telephone charges	40 pieces	P	150.00		6,000.00	
*letters/parcels	21 parcels	P	200.00		4,200.00	
*press release and advertisement						
*mailing of reports and proceedings						
* Communication(for local coordination)						
					P	39,700.00

5. Textbook									
5.1 Binding of Country Reports	40 copies	P	150.00				6,000.00		
5.2 Certificates for participants	25 pieces	P	75.00				1,875.00		
5.3 Folders for Certificates	21 pieces	P	100.00				2,100.00		
5.4 Plaques of Appreciation	10 pieces	P	400.00				4,000.00		
5.5 Book Printing	100 books	P	1,000.00				100,000.00		
5.6 Book Purchase	20 books	P	2,000.00				40,000.00		
5.7 Teaching aid purchase									
-OHP	1 piece	P	15,000.00				15,000.00		
- slide projector	1 piece	P	10,000.00				10,000.00		
- white screen	1 piece	P	5,000.00				5,000.00		
- projector from computer monitor to screen	1 piece	P	80,000.00				80,000.00	263,975.00	
SUB TOTAL:								1,147,910.00	
								Total (Pesos)	2,733,590.00
								Total (Yen) **	10,124,407.41
								** at 1Peso= .27 Yen	

6 eqc sept.16, 1993

PROJECT MANAGEMENT

LONGENECKER, JUSTIN G. and CHARLES D. PRINGLE. **Management**, 5th ed. Columbus: C.E. Merrill, 1981.

ILO. **An intro. Course in Teaching and Training methods for Management Development.**

JAISWAL, N.K., ed., **Scientific Management of Transport Systems.** Amsterdam, Holland : North Holland Publishing Company, 1981

WCTR. **Transport Policy, Management and Technology Towards 2001**, vol II. Western Periodicals Company, 1989.

PEARCE, D.W. AND C.A. NASH. **The Social Appraisal of Projects. A text in Cost- Benefit Analysis.**

LITTLE, I.M.D. and J.A. MIRRLESS **Project Appraisal and Planning for Developing Countries.** New York, Basic, 1974.

PERRETT, HELI AND FRANCIS J. LETHEM. "Human Factors in Project Work." (World Bank Staff Working Paper #397, June 1980).

PHILIPPINES NATIONAL ECONOMIC AND DEVELOPMENT AUTHORITY PROJECT DEVELOPMNET MANUAL. Manila, NEDA, 1984. Improved Version of a Guide to Project Development (2nd ed.) published in 1977.

"Operation and Maintenance of Transport Facilities : Statements of Research Problems." Washington, D.C. (Special Report # 158, Transportation Research Board, National Research Council, 1975)

NATIONAL RESEARCH COUNCIL TRANSPORT RESEARCH BOARD. **Transport Programing and Management.** Washington, D.C., TRB, 1976.

COOLEY, HENRY B. **Transport Management.** New York, Cornell Maritime Press, 1945.

ADLER, HANS A. **Economic Appraisal of Transport Project: A Manual with Case Studies.** Bloomington, Indiana University Press, 1971.

PHILIPPINES MINISTRY OF LOCAL GOVERNMENT RURAL ROADS PROGRAM.
**A Manual on Procedures for Undertaking a Feasibility Study (of Roads/
Bridges)**, CY 1982 -83/ Bobero V. Dayao, Jr. Manila. Certeza Development
Corporation, 1983.

HARRISON, ANTHONY JOHN. **The Economic of Transport Appraisal**. New
York, Wiley, 1974.

BEDEIAN, ARTHUR G. **Management**. Chicago : Dryden Press, 1986.

FLIPPO, EDWIN B. AND G.M. MUNSINGER. **Management**. Boston: Allyn and
Bacon, 1982.

McFARLAND, DALTON E. **Management: Foundations and Practices**. %th
ed. New York: Macmillan, 1979.

BROWNE, JIM. **Management and Analysis of Service Operations**. New York:
North Holland, 1984.

HENRY, WILLIAM R. AND W.W. HAYNES **Managerial Economics: Analysis and
Cases**. 4th ed. Plano, Texas: Business Pub., 1978.

SEO, K.K. **Managerial Economics: Text, Problems, and Short Cases**. 6th ed.
Homewood, Ill. : Irwin, 1984.

SEO, K.K. AND B.J. WINGER. **Managerial Economics:Text, Problems, and Short
Cases**. 5th ed. Homewood, Ill. : Irwin, 1979.

ORGANIZATION FOR ECONOMIC COOPERATION AND DEVELOPMENT.
Managing and Financing Urban Services. Paris: OECD, 1987.

ORGANIZATION FOR ECONOMIC COOPERATION AND DEVELOPMENT.
**Managing Transport: Managing of Transport Systems to Improve the Urban
Environment**. Paris: OECD, 1979.

NEW

Decision & Forecasting Models: with Transport Application (2)

Limited- Dependent & Qualitative Variables in Econometrics

Multinomial Probit: The Theory and its Application to Demand Forecasting

Discrete Choice Analysis: Theory and Application to Travel Demand.

Integrated Land Use and Transport Modelling : Decision Chains and Hierarchies

Qualitative Choice Analysis

Structural Analysis of Discrete Data with Econometric Applications

Recent Advances in Travel Demand Analysis

Spatial Choice and Processes

The Social Appraisal of Project: A Text in Cost-Benefit Analysis

Discrete Multivariate Analysis: Theory and Practice

Bus Planning and Operation in Urban Areas: A Practical Guide

Transportation Engineering: Introduction to Planning, Design, and Operations

Planning under Pressure The Strategic Choice Approach

Guide to the Highway Law for Architects, Engrs., Surveyors, and Const.

Principles of Highway Engineering and Traffic Analysis

Traffic Analysis: New Technology and Solutions

Transportation Engineering: Planning and Design, 3rd ed. (2)

Transportation Planning & Air Quality: Proc. of the National Conference

Transportation Planning Handbook

Highway Investment in Developing countries

Applied Transport Economics: A Practical Case Studies Approach

Analysing Demand For Rail Travel

Principles of Highway Engineering and Traffic Analysis

TRANSPORTATION LAWS & LEGISLATION

BECKMANN, LUTZ. Transport Policies. Paper presented to the Public Transport Planning in Developing Countries with Special Reference to Urban Transport; Manila, Nov. 29 - Dec. 6, 1981.

EISENHART, EARL B. "Motor Vehicle Law Review: Preemptive Impact of Federal Legislation Noted at 1980 Institute on Motor Vehicle Traffic Law." Connecticut, AAMVA Bulletin Vol. 45 no. 8 (Aug. 1980).

WILLIAMS, ALLAN F. "Restraint Use Legislation: Its Prospects for Increasing the Protection of Children in Cars." Accident Analysis and Prevention : Vol. 11 no. 4 (Dec. 1979).

Philippine Bureau of Land and Transportation. A Compilation of Edicts Related to the Land Transportation System of the Philippines. Quezon City, Bureau of Land Transportation 1980.

LADY DRIVERS' ASSOCIATION OF THE PHILIPPINES. LDAP Motorists' Guide. Makati, LDAP, 1984.

CONSTABULARY HIGHWAY PATROL GROUP. Reference Material for Traffic Safety Seminar. Quezon City, CHPG, 1978.

LAND TRANSPORTATION AND TRAFFIC CODE AND CIVIL AERONAUTIC ACT/ COMPILED AND EDITED BY CBSI EDITORIAL STAFF 1990 ED. Manila, Central Book Supply, 1990.

RODRIGUEZ, RUFUS BAUSTISTA. The Law on Transportation - Revised ed. Manila, Rex Bookstore, 1988.

TRANSPORT POLICY FORMULATION STUDY. A study of Transport Organizations: Its Formal and Non-Formal Sectors. Manila, TRAPOLI, 1979.

BARLOW, P. "The Use of Psychometrics to Improve Decision Making in Transport Planning." South Africa, National Institute for Transport and Road Research. RR 256, 1979.

BRYER, PHILIP H. AND DAVID SAUNDERS. "Choosing Objectives in Transportation Planning." Transport Engineering Journal of ASCE, Jan. 1979.

HENSHER, DAVID A., ed. Urban Transport Economics. London, Cambridge University Press, 1977.

"TRANSPORT ECONOMICS" Highway Research Board, Highway Research Record no. 285, 1969.

COLE, STUART. Applied Transport Economics. London, Kogan Page, 1987.

GLAISTER, STEPHEN. Fundamental of Transport Economics. New York, St. Martins Press, 1981.

NASH, C.A. Economics of Public Transportaion. London, Longman, 1982.

STUBBS, PETER C. , W.J.TYSON AND M.Q. DALVI Transport Economics. London, Allen and Unwin, 1980

ADB

Regional Study of the Impact of the Energy Situation on Transport Development/ William Reinfeld, Peter G.M. Smith, George W. Wilson /for/ ADB. Manila, ADB. 1983

Regional Seminar on Road Maintenance (1980: Manila) Technical Papers /and/ country reports. -- Manila: ADB< 1980.

Southeast Asian Regional Transport Survey:
Report to the ADB. Arthur D. Little and others. July 1971.

WORLD BANK

LINN, JOHANNES F. Cities in the Developing World: Policies for their Equitable and Efficient Growth. Washington, D.C. : Oxford University Press, 1983

Philippines: Transport Sector Review. Washington, D.C. : World Bank, 1988.

RAY, ANANDARUP. Cost-Benefit Analysis: Issues and Methodologies. Baltimore, Maryland: John Hopkins University Press, 1984.

Urban Transport: Sector Policy Paper. Washington, D.C. : World Bank, 1975.

Urbanization: Sector Working Paper. Washington: World Bank, 1972.

The Transport Sector in the Philippines: Main Report. Washington, D.C. : Transportation Division 2, Projects Dept., East Asia and Pacific Regional Office, World Bank, 1983.

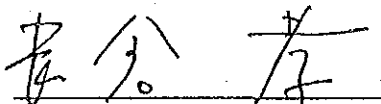
Philippines: Urban Transport Sector Review. Washington, D.C. : Urban and Water Supply Division, Projects Dept., East Asia & Pacific Regional Office, World Bank, 1983

Transport Planning in the Philippines. Washington, D.C. : Transportation Division, East Asia & Pacific Region, World Bank, 1976.

**MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE PRELIMINARY STUDY TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE
REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME**

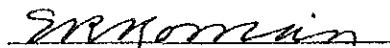
1. The Japanese preliminary survey team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Takashi Nagakura, visited the Republic of the Philippines from September 20, 1993 to September 27, 1993 in order to discuss with the authorities concerned of the Philippines a training course for participants from Asian-Pacific countries in the field of transportation development management, to be implemented in the Philippines under JICA's Third Country Training Programme.
2. The team has conducted surveys, held a series of meetings, and exchanged opinions with the authorities concerned of the Philippines regarding the course.
3. Both sides came to share the view that the course will contribute to the development of transportation development management in Asian-Pacific countries.
4. Both sides drafted the Record of Discussions attached as APPENDIX I, and agreed to recommend to their respective Governments that further studies should be made for elaborating it in order to ensure the successful implementation of the course.
5. A list of attendants at the meeting is attached as APPENDIX II.

Quezon City, September 27, 1993



TAKASHI NAGAKURA

Head of the Japanese
Preliminary Survey Team
Japan International Cooperation Agency



EMERLINDA R. ROMAN

Chancellor
University of the Philippines Diliman

(Draft)

**THE RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
THE RESIDENT REPRESENTATIVE OF JICA PHILIPPINE OFFICE AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME**

The Japanese Preliminary Survey Team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Takashi Nagakura, visited the Republic of the Philippines from September 20, 1993 to September 27, 1993 and had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the Philippines with respect to the framework of a training course in the field of transportation development management under JICA's Third Country Training Programme, and to the desirable measures to be taken by both Governments to ensure the successful implementation of the course.

Based on the above discussions, the Resident Representative of JICA's Philippine Office and the University of the Philippines agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

AKIHIRO HASHIMOTO
Resident Representative
JICA Philippines Office

EMERLINDA R. ROMAN
Chancellor
University of the Philippines Diliman



ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of the Republic of the Philippines will cooperate with each other in organizing a training course in the field of transportation development management (hereinafter referred to as the "Course") under JICA's Third Country Training Programme.

The Government of the Republic of the Philippines will conduct the Course with the support of the technical cooperation scheme of the Government of Japan. The Course will be held once a year from Japanese fiscal year (JFY) 1993 to JFY 1997, subject to annual consultations between both Governments. The Course will be conducted in accordance with the following;

1. TITLE

The Course will be entitled "Transportation Development Management Course for Executives (TRANSMEX)."

2. PURPOSE

The purpose of the Course is to provide the participants from the Asian-Pacific countries with an opportunity to improve their knowledge and techniques in the field of transportation development management.

3. OBJECTIVES

At the end of the Course, the participants are expected to have;

- 3-1 enhanced their knowledge and skills in the planning, management and administration of transportation development programs and projects,
- 3-2 achieved a thorough understanding of project development cycle, including the different stages and related topics such as problem identification and analysis, transportation policies, project identification and preparation, project appraisal and decision making, financing transportation development projects, implementation strategies and monitoring techniques, and, institutional aspects of transportation project management,
- 3-3 gained knowledge and insights on each of the participants' experiences and techniques in the management of transportation development projects in their respective countries, and
- 3-4 developed friendly relations with participants from other countries and Japan.

4. **DURATION**

The duration of the Course will be approximately three (3) weeks and the Course of JFY 1993 (hereinafter referred to as "the first Course") will be held from March 6 to March 26, 1994.

5. **CURRICULUM**

Tentative curriculum of the first Course is attached as Annex I.

6. **INVITED COUNTRIES**

The Governments of the following countries will be invited to apply by nominating applicant(s) for the Course:

Bangladesh, Brunei, Indonesia, Malaysia, Papua New Guinea, Singapore, Sri Lanka, Thailand, and Viet Nam.

7. **NUMBER OF PARTICIPANTS**

The number of participants from the invited countries shall not exceed eighteen (18) in total. And the number of participants from the Philippines shall not exceed three (3).

8. **QUALIFICATIONS FOR APPLICANTS**

Applicants for the Course are;

- 8-1 to be nominated by their respective Governments in accordance with the procedure stipulated in 10-1 below.
- 8-2 to be more than thirty (30) years of age.
- 8-3 to be university graduates,
- 8-4 to have practical experience of more than 5 years in the field of transport, and
- 8-5 to have working knowledge of English and to be in good health, both physically and mentally, in order to complete the Course.

9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

The Course will be given at the Transport Training Center (TTC), in the Republic of the Philippines.

10. APPLICATION PROCEDURE

10-1 A Government applying for the Course on behalf of its nominee(s) shall forward five (5) copies of the prescribed application form for each nominee to the Government of the Philippines through diplomatic channels not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.

10-2 The Government of the Philippines will inform the applying Governments, through diplomatic channels, whether or not the applicant(s) is/are accepted to the Course not later than thirty (30) days before the commencement of the Course.

11. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN AND THE GOVERNMENT OF THE PHILIPPINES

In organizing and implementing the Course, both Governments will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country.

The schedule of the first Course implementation is attached as Annex II.

11-1 Government of the Philippines

11-1-1 Department of Foreign Affairs

- (1) To forward G.I. (General Information) to the Governments of invited countries through its diplomatic channels
- (2) To receive application forms and forward them to Transport Training Center
- (3) To notify the results of the selection of participants to the respective Governments through its diplomatic channels

11-1-2 Transport Training Center (TTC)

- (1) To formulate the curriculum based on ANNEX I
- (2) To draft and print the G.I.

- (3) To assign an adequate number of its staff as lecturers/instructors for the Course
- (4) To provide its training facilities and equipment for the Course
- (5) To select participants for the Course and notify the JICA Philippines Office (hereinafter referred to as the "JICA Office") and the Department of Foreign Affairs of the results
- (6) To arrange accommodation for participants
- (7) To arrange international air tickets for the participants from invited countries and to meet and see them off at the airport
- (8) To arrange domestic study tour(s) as a part of the Course
- (9) To take budgetary measures to cover the cost of conducting the Course, excluding the expenses financed by the Government of Japan
- (10) To issue certificates to the participants who have successfully completed the Course
- (11) To submit a course report to the JICA Office within thirty (30) days after the termination of the Course
- (12) To submit a statement of expenditure with the receipts and other documentary evidence necessary to verify the expenditure stated above within thirty (30) days after the termination of the Course
- (13) To coordinate any matters related to the Course

11-2 The Government of Japan

- (1) To dispatch Japanese short-term expert(s), in accordance with the normal procedures of its technical cooperation scheme, who will give advice to TTC and deliver some of the lectures. This, however, is subject to the JICA budget available for this purpose and to the number of suitable expert(s) in Japan. TTC is expected to pre-inform the JICA Office of requests for JICA short-term expert(s) not later than annual consultation.

- (2) To bear the following expenses through JICA (A tentative estimate of expenses for the first Course is attached as ANNEX III.
 - a) Expenses relevant to participants from invited countries such as international economy-class flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums.
 - b) Expenses relevant to TTC such as study tour(s), textbooks, teaching aids, expendable supplies, copies, honoraria for external lecturer(s) and opening and closing ceremonies.

12. PROCEDURE FOR REMITTANCE AND EXPENDITURE

Remittance of funds for expenses to be borne by the Government of Japan and the expenditure thereof will be arranged in accordance with the following procedures:

- 12-1 A bank account in the Philippines will be opened in the name of JICA TRANSMEX to receive the funds remitted by JICA, and the TTC will inform the JICA Office of the name of the bank, the account code number and the name of the account holder.
- 12-2 TTC will submit to the JICA Office a bill of estimate for the expenses to be borne by the Government of Japan not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.
- 12-3 JICA will assess the bill of estimate and remit the assessed amount of expenses to the account mentioned in 12-1 above within thirty (30) days after the receipt of the bill estimate.
- 12-4 TTC will submit to the JICA Office a statement of expenditure within thirty (30) days after the termination of the Course.
- 12-5 In case there is any unspent remainder of the amount remitted by JICA, TTC will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the advice given by JICA. The funds allocated for the flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums shall not be appropriated for any other purposes.
- 12-6 When requested by JICA, TTC will make available for JICA's reference all the receipts and other documentary evidence necessary to verify the expenditures stated in 12-4 above.

13. OTHERS

This attached document and the following Annexes attached hereto shall be deemed to be part of the Record of Discussions:

- ANNEX I : Tentative Curriculum of the Course (for JFY 1993)
- ANNEX II : Schedule of Course Implementation (for JFY 1993)
- ANNEX III : Tentative Estimate of Expenses to be borne by the Government of Japan (for JFY 1993)

fz

gmm

Transportation Development Management Course for Executives (TRANSMEX)
Schedule of Activities

Day	Morning	Afternoon	Night
Week 1 Sunday March 6	Arrival of Participants	Arrival of Participants	
Monday March 7	Opening Ceremony Orientation	UP Campus Tour	Welcome Party
Tuesday March 8	City tour/courtesy calls Visit DOTC: Briefing on Philippine Transportation System 1	Visit DPWH: Briefing on Philippine Transportation System 2 Visit JICA Office	
Wednesday March 9	Course Overview Lecture: Project Development Cycle	Lecture: Problem Identification and Analysis	
Thursday March 10	Lecture: Transportation Policies	Lecture: Project Identification and Preparation	
Friday March 11	Site Visits: PPAMICT TEC	Site Visits: LRTA MVIS	
Saturday March 12	Lecture: Project Appraisal and Decision Making	Workshop: Project Appraisal and Decision Making	
Sunday March 13	FREE	FREE	

gmk

Week 2	Monday March 14	Lecture: Financing Transportation Development Projects	Country Report No. 1 Country Report No. 2 Country Report No. 3	
	Tuesday March 15	Lecture: Implementation Strategies and Monitoring Techniques	Country Report No. 4 Country Report No. 5 Country Report No. 6	
	Wednesday March 16	Special Lecture No. 1: BOT, BT, etc.	Country Report No. 7 Country Report No. 8 Country Report No. 9	
	Thursday March 17	Field Trip: Subic Bay Area Development	Field Trip: Subic Bay Area Development	
	Friday March 18	Special Lecture No. 2: Project Proposal Processing By International Agencies (ADB, OECF, World Bank)	Workshop: Institutional Aspects of Transportation Project Management	
	Saturday March 19	Field Trip: Expressway Extension Project (Calamba, Los Banos, Canlubang, etc.)	Field Trip: New Area Development (Tagaytay)	
	Sunday March 20	FREE	Depart for Cebu City	
	Monday March 21	Observation Tour: Cebu City	Observation Tour: Cebu City	
	Tuesday March 22	Observation Tour: Cebu City	Observation Tour: Cebu City	
	Wednesday March 23	Observation Tour: Cebu City	Depart for Manila	
Thursday March 24	Case Study	Case Study		
Friday March 25	Evaluation	Closing Activities	Farewell Party	
Saturday March 26	Departure of Participants			
Week 3				

SMU

SCHEDULE OF COURSE IMPLEMENTATION FOR JAPANESE FY 1993

M O N T H	PHILIPPINE SIDE	JAPANESE SIDE
OCTOBER - NOVEMBER 1993	<ol style="list-style-type: none"> 1. Signing of Record of Discussions 2. Preparation of G.I. 3. Submission of Form A-1 4. Distribution of G.I. and Application Forms 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Signing of Record of Discussions. 2. Recruitment of Expert(s)
DECEMBER 1993	<ol style="list-style-type: none"> 1. Opening of Bank Account 2. Submission of Bill of Estimates 	
JANUARY 1993	<ol style="list-style-type: none"> 1. Receipt of Application Forms 2. Selection and Notification of the Participants 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Remittance of Funds 2. Submission of Form B-1
MARCH 1994	<ol style="list-style-type: none"> 1. Implementation of the Course 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Dispatch of Expert(s)
APRIL 1994	<ol style="list-style-type: none"> 1. Submission of Statement of Expenditures 2. Submission of Course Report 	

TRANSMEX: Transportation Development Management Course for Executives
 Details of estimates:

Annex III

	quantity	unit amount (round trip)	frequency	budget	Sub total (peso)	Total (peso)
1. Invitation, Preparation and Post Training Expenses						
1. air tickets: (in US Dollars/2 way) *						
-Philippines	3 persons	\$ 0.00		\$ 0.00		
-Thailand	2 persons	\$ 736.00		\$ 1,472.00		
-Singapore	2 persons	\$ 984.00		\$ 1,968.00		
-Brunei	2 persons	\$ 548.00		\$ 1,096.00		
-Indonesia	2 persons	\$ 1,036.00		\$ 2,072.00		
-Malaysia	2 persons	\$ 654.00		\$ 1,308.00		
-Papua New Guinea	2 persons	\$ 1,500.00**		\$ 3,000.00		
-Vietnam	2 persons	\$ 500.00		\$ 1,000.00		
-Sri Lanka	2 persons	\$ 2,000.00**		\$ 4,000.00		
-Bangladesh	2 persons	\$ 2,000.00**		\$ 4,000.00		
		** "estimates"		\$ 19,916.00 P	597,480.00	
2. per diem:	18 persons	P 500.00	21 days	P 189,000.00 P	189,000.00	
3. accommodation (Manila)	18 persons	P 950.00	17 days	P 290,700.00		
accommodation (Cebu)	18 persons	P 1,800.00	3 days	P 97,200.00		
			total	P 387,900.00		
4. medical insurance	18 persons	P 5,000.00		P 90,000.00 P	90,000.00	
SUB TOTAL:						1,264,380.00

ff

GMM

II. Training Expenses								
1. Honoraria for external lecturers								
1.1 lectures' fee:								
- Briefing on Philippine Transportation System 1	1.5 hours	P	700.00				P	1,050.00
- Briefing on Philippine Transportation System 2	1.5 hours	P	700.00				P	1,050.00
- Project Development Cycle	3 hours	P	700.00				P	2,100.00
- Problem Identification and Analysis	3 hours	P	700.00				P	2,100.00
- Transportation Policies	3 hours	P	700.00				P	2,100.00
- Project Appraisal and Decision Making	6 hours	P	700.00				P	4,200.00
- Financing Transportation Development Projects	3 hours	P	700.00				P	2,100.00
- Implementation Strategies and Monitoring Techniques	3 hours	P	700.00				P	16,800.00
	24							
1.2 Transportation over long distance		P	300.00				P	600.00
2. Employment fee								
2.1 Preparation and post training activities								
- secretary	1 person	P	200.00	15 days			P	3,000.00
- driver	1 person	P	150.00	10 days			P	1,500.00
- messenger	1 person	P	150.00	10 days			P	1,500.00
- draftsman	1 person	P	150.00	15 days			P	2,250.00
- copy machine operator	1 person	P	150.00	15 days			P	2,250.00
2.2 During training activities								
- secretary	1 person	P	200.00	10 days			P	2,000.00
- draftsman	1 person	P	150.00	10 days			P	1,500.00
- driver	1 person	P	150.00	15 days			P	2,250.00
- messenger	1 person	P	150.00	10 days			P	1,500.00
							P	17,400.00
							P	17,750.00

Handwritten signature

Handwritten signature

3. Transportation for study tour							
3.1 Travelling Expenses							
- transportation from/to airport to/ from hotel	9 taxis	P 1,000.00	2 days	P 18,000.00	P 18,000.00		
- inland transportation	18 persons	P 0.00	21 days	P 0.00	P 0.00		
-Metro Manila and adjacent provinces: (bus hire)	1 bus	P 12,000.00	1 day	P 12,000.00			
* Courtesy call: DPWH, DOTC and JICA	1 bus	P 12,000.00	1 day	P 12,000.00			
* Visit to PPAM/ICT, TEC, LRT and MVIS	1 bus	P 20,000.00	1 day	P 20,000.00			
* Field trip to Subic Bay area development							
* Field trip to South Luzon Expressway and Tagaytay area development	1 bus	P 15,000.00	1 day	P 15,000.00			
-Cebu City Study tour :					P 59,000.00		
* plane fare							
- participants	21 persons	P 6,000.00	1 day	P 126,000.00			
- staff and organizer	6 persons	P 6,000.00	1 day	P 36,000.00			
* bus hire from /to Cebu Airport to/from hotel	1 bus	P 6,000.00	2 days	P 12,000.00			
* bus hire for daily shuttle	1 bus	P 10,000.00	2 days	P 20,000.00			
* accommodation					P 162,000.00		
- local participants	3 persons	P 1,800.00	3 days	P 16,200.00			
-staff	6 persons	P 1,800.00	3 days	P 32,400.00			
* per diem					P 32,000.00		
-local participants	3 persons	P 500.00	4 days	P 6,000.00			
- staff and organizer	6 persons	P 500.00	4 days	P 12,000.00			
* advance party					P 48,600.00		
- taxi to/from airport from/to quarter	2 persons	P 400.00	2 days	P 1,600.00			
- airplane fare	2 persons	P 6,000.00		P 0.00			
- accommodation	2 persons	P 1,800.00	2 days	P 7,200.00			
-per diem	2 persons	P 500.00	3 days	P 3,000.00			
- taxi from/to airport to/from hotel	1 taxi	P 300.00	2 days	P 600.00			
- inland transportation for coordination	1 car	P 2,000.00	2 days	P 4,000.00			
					P 18,000.00		
3.2 Others:							
* lecturer's fee (Cebu)	2 persons	P 700.00	2 days	P 2,800.00			
* conference room rental (Cebu)	1 room	P 1,500.00	1 day	P 1,500.00			
* foods and drinks during the conference (Cebu)	35 persons	P 300.00	1 day	P 10,500.00			
					P 14,800.00		

4. Material procurement						
4.1 Articles of consumption						
ballpens	60 pieces	P	20.00	P	1,200.00	
pencils	60 pieces	P	5.00	P	300.00	
notebooks	60 pieces	P	20.00	P	1,200.00	
memop pads	60 pieces	P	30.00	P	1,800.00	
road maps	25 pieces	P	50.00	P	1,250.00	
films(Color print)	20 rolls	P	200.00	P	4,000.00	
developing/printing (color print)	20 rolls	P	150.00	P	3,000.00	
8 mm tapes	12 cassette	P	350.00	P	4,200.00	
VHS tapes	12 cassettes	P	250.00	P	3,000.00	
Beta tapes	12 cassettes	P	250.00	P	3,000.00	
film (slides)	12 rolls	P	220.00	P	2,640.00	
developing/framing (Slides)	12 rolls	P	250.00	P	3,000.00	
film (black and white)	5 rolls	P	120.00	P	600.00	
developing/printing (BW)	5 rolls	P	200.00	P	1,000.00	
pens/ markers	5 pieces	P	30.00	P	150.00	
cassette tapes	30 pieces	P	100.00	P	3,000.00	
yellow pads	60 pads	P	25.00	P	1,500.00	
signpens	40 pieces	P	40.00	P	1,600.00	
pentel pens	20 pieces	P	40.00	P	800.00	
OHP markers	10 sets	P	300.00	P	3,000.00	
white board markers(blk,bl,rd)	15 pieces	P	40.00	P	600.00	
transparency films	4 boxes	P	1,800.00	P	7,200.00	
graphing paper	2 reams	P	200.00	P	400.00	
tracing paper	1 roll	P	1,000.00	P	1,000.00	
letter transfer	50 sheets	P	40.00	P	2,000.00	
chalk (white)	8 boxes	P	100.00	P	800.00	
chalk(colored)	4 boxes	P	25.00	P	100.00	
board eraser	4 pieces	P	50.00	P	200.00	
letter envelop (airmail)	2 boxes	P	420.00	P	840.00	
letter envelop (ordinary)	2 boxes	P	400.00	P	800.00	
brown envelop (long)	100 pieces	P	3.00	P	300.00	
brown envelop(short)	100 pieces	P	2.75	P	275.00	
ordinary folder	100 pieces	P	6.00	P	600.00	
green hard folder	50 pieces	P	15.00	P	750.00	
byronic paper (83grams)	6 boxes	P	600.00	P	3,600.00	
paper board fine linen (178 gm)	100 pieces	P	35.00	P	3,500.00	
plastic cover	2 rolls	P	650.00	P	1,300.00	
morocco paper	25 sheets	P	100.00	P	2,500.00	
binding strip(1X 13)	2 pkts	P	800.00	P	1,600.00	
air freshener	4 cans	P	150.00	P	600.00	
batteries(size AA)	60 pieces	P	8.00	P	480.00	

Handwritten mark

Handwritten signature

batteries (size C)	40 pieces	P	12.00	P	480.00
batteries (size D)	40 pieces	P	14.00	P	560.00
toner for MITA copier (large)	10 cassettes	P	1,700.00	P	17,000.00
toner for MITA copier (small)	10 cassettes	P	1,200.00	P	12,000.00
floppy diskette (3.5 HDD)	15 boxes	P	500.00	P	7,500.00
floppy diskette (5.25 HDD)	10 boxes	P	350.00	P	3,500.00
computer ribbon	10 pieces	P	450.00	P	4,500.00
laser toner	10 tubes	P	2,000.00	P	20,000.00
computer paper	3 boxes	P	500.00	P	1,500.00
lift off tape	40 rolls	P	50.00	P	2,000.00
mimeo paper (A4)	50 reams	P	180.00	P	9,000.00
mimeo paper (legal)	15 reams	P	160.00	P	2,400.00
bond paper (A4)	25 reams	P	250.00	P	6,250.00
bond paper (legal)	15 reams	P	270.00	P	4,050.00
copy paper (A3)	10 reams	P	400.00	P	4,000.00
tuffilm fixture glass	2 cans	P	380.00	P	760.00
cork board	1 piece	P	3,500.00	P	3,500.00
magnetic board	2 pieces	P	3,500.00	P	7,000.00
filing cabinet	2 pieces	P	4,000.00	P	8,000.00
fax paper	3 rolls	P	1,500.00	P	4,500.00
tempera opaque colors	1 set	P	250.00	P	250.00
Prang Color	1 set	P	400.00	P	400.00
Camel's hair watercolor brush	1 set	P	150.00	P	150.00
Mylar tracing paper	1 roll	P	650.00	P	650.00
Ink eraser	5 pices	P	50.00	P	250.00
Technical Pen Ink	10 bottles	P	80.00	P	800.00
india ink	1 bottle	P	40.00	P	40.00
speedball pen	1 set	P	1,200.00	P	1,200.00
technical pens	5 sets	P	1,000.00	P	5,000.00
mechanical pens	5 pieces	P	90.00	P	450.00
lead mechanical pens	5 pieces	P	30.00	P	150.00
cutter with blades	5 pieces	P	150.00	P	750.00
triangles	10 pieces	P	85.00	P	850.00

5

gmm

rulers	20 pieces	P	15.00			P	300.00	
crayons	10 sets	P	50.00			P	500.00	
staplers	5 pices	P	500.00			P	2,500.00	
staple wire	5 boxes	P	35.00			P	175.00	
fasteners	10 boxes	P	25.00			P	250.00	
streamers	4 pieces	P	500.00			P	2,000.00	
glue	4 pieces	P	40.00			P	160.00	
flourescent paper	1 box	P	200.00			P	200.00	
colored paper	1 box	P	150.00			P	150.00	
flourescent lights	20 pieces	P	100.00			P	2,000.00	
masking tapes	10 pieces	P	35.00			P	350.00	
scotch tape	5 pieces	P	25.00			P	125.00	
paint	4 cans	P	250.00			P	1,000.00	
paint thinner	8 bottles	P	75.00			P	600.00	
plastic glasses	500 pieces	P	1.00			P	500.00	
paper plates	250 pieces	P	1.50			P	375.00	
plastic spoon/fork	250 sets	P	1.50			P	375.00	
water jug	2 pieces	P	500.00			P	1,000.00	
plastic container	2 pieces	P	500.00			P	1,000.00	
thermos/heater	2 pieces	P	1,500.00			P	3,000.00	
training bag	40 pieces	P	450.00			P	18,000.00	
							P	233,685.00
4.2 Meeting Expenses								
-Opening Ceremony	100 persons	P	750.00		1 day	P	75,000.00	
-Closing Ceremony	100 persons	P	750.00		1 day	P	75,000.00	
- coordination meetings	15 persons	P	250.00		4 days	P	15,000.00	
							P	165,000.00
4.3 Others								
-GI printing	50 pieces	P	200.00			P	10,000.00	
- communication expenses								
*fax/telephone charges	30 times	P	400.00			P	12,000.00	
*letters/parcels	40 pieces	P	150.00			P	6,000.00	
*press release and advertisement								
*mailing of reports and proceedings	21 parcels	P	200.00			P	4,200.00	
* Communication(for local coordination)								
							P	2,500.00
							P	39,700.00

6

gmm

5. Textbook									
5.1 Binding of Country Reports	40 copies	P	150.00						P 6,000.00
5.2 Certificates for participants	25 pieces	P	75.00						P 1,875.00
5.3 Folders for Certificates	21 pieces	P	100.00						P 2,100.00
5.4 Plaques of Appreciation	10 pieces	P	400.00						P 4,000.00
5.5 Book Printing	100 books	P	1,000.00						P 100,000.00
5.6 Book Purchase	20 books	P	2,000.00						P 40,000.00
5.7 Teaching aid purchase									
'-OHP	1 piece	P	15,000.00						P 15,000.00
'- slide projector	1 piece	P	10,000.00						P 10,000.00
'- white screen	1 piece	P	5,000.00						P 5,000.00
- projector from computer monitor to screen	1 piece	P	80,000.00						P 80,000.00
SUB TOTAL:									P 263,975.00
									1,106,310.00
Total (Pesos)									2,370,690.00
7 eqc sept.23, 1993									

EMM

LIST OF ATTENDEES

PHILIPPINE SIDE

University of the Philippines

Dr. Emerlinda R. Roman
Chancellor, UP Diliman

Dr. Milagros D. Ibe
Vice Chancellor for Academic Affairs

Dr. Reynaldo B. Vea
Acting Dean, College of Engineering

Dr. Benjamin V. Cariño
Dean, School of Urban and Regional Planning

Prof. Jose Ma. de Castro
Chairman, Civil Engineering

Dr. Primitivo C. Cal
Director, Transport Training Center

Engr. Esteban Q. Cases, Jr.
Deputy Director, Transport Training Center

JAPANESE SIDE

Survey Team

Mr. Takashi Nagakura
Head of the Team

Mr. Toru Saito
Team Member

JICA Expert

Mr. Tadafumi Maejima
Chief Adviser, NCTS Project

Dr. Yasuhiro Hirobata
JICA Visiting Professor

Mr. Seiji Nishioka
JICA Expert

Mr. Masaharu Kawashima
JICA Expert

Mr. Hideo Ito
JICA Coordinator for NCTS Project

Embassy of Japan

Mr. Kinji Hasegawa
First Secretary

JICA Philippine Office

Mr. Satoshi Machida
Deputy Resident Representative

Mr. Nobuyuki Kobayashi
Assistant Resident Representative

